
私と不良の1年間

A B C 2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私と不良の1年間

【Zコード】

N2471P

【作者名】

A B C 2

【あらすじ】

平凡な暮らしをしていた加藤凜中学2年生に学校1の不良、
大樹会^{だいき}つてはいけない二人が会つてしまつた・・・。

かとうりん
ふじみや

私と不良の出会い

本当の恋って何だろ？

そもそも恋って何。

あの日が来るまでは、私はそう思っていた……。

私、かとうりん加藤凜中学2年生。

私はこの夏1人の人に恋をした。

あれは夏休みの1ヶ月前の事だった……。

「おはよう凜。」

私の親友、こはやし小林奈菜が私にあいさつをした。

「奈菜、おはよう。」

私も、あいさつを返した。

「そついえば3組の藤宮ふじみやって知ってる？」

奈菜が言つた。

「だれ、それ？」

私はそう答えた。

「ええ～知らないの。マジで！」

奈菜はものすごくびっくりしたような顔で、私を見た。

「あの学校1の問題児もんだいじって言われているあの不良の藤宮だよ！」

奈菜が言つた。

その時だつた。

「ダダダダダダダダ、ダ~~~~~。」

ものすごい音を立ててているバイクの音が聞こえた。

外を見ると50台ぐらいぐらいのバイクが校庭に止まっていた。

「何あれ？怖つ。」

奈菜が言つた。

「本当、何？」

私は言つた。

「ちょっと見に行こつか。」

奈菜はそう言つて階段を下りつてつた。

「まつ待つてよ。」

私もそう言つて奈菜について行つた。

校庭に出てみたら、

「テメーラ、何見てんだ。」

イカツイタ顔の男がそう言つて近づいてきた。

私は怖くて、動けなくなつてしまつた。

「奈菜どうしよう。」

私がそう言つて後ろを見た時には、怖くなつた奈菜も、もう逃げていた。

どうしようと思つた時だつた。

イカツイタ顔の男が、

「藤富大樹俺たちと勝負シロヤ。」

もう一人の男が、

「さもないとこの女を殺すぞー、さつわと出てこいや。」

そう言つたとたんに、1人の男が学校から出てきた。そして、

「俺の学校の生徒に手一出すんじやねーゾー

1人の男がこっちに走つてきた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2471p/>

私と不良の1年間

2010年12月1日23時12分発行